

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【人文社会学系】

総じて、評価は良かったので安堵しているが、「学びねっと」の仕様が教員にアナウンスのないまま変更され、学生からの意見の集約が難しくなったため、問2、問5(以上2問は小レポートを課題として設定すれば改善が見込まれる)、問11、問15(「学びネット」を通じて以前は提出してもらっていた授業の感想の提出ができなくなったため、低い結果になったと予想される)については数字が他に比べて低く出てしまった。学生からの小レポートや毎回の授業の感想を、毎回まなびネットを通じて投稿できるよう仕様の改善を強く望む。本学は情報関係のインフラが貧しすぎると感じる。

上記いずれも以下の基準により評価している。平均は、おおよそ素点で70～75点程度。

- (1) 平常点 45点 (3点×15回)
- (2) 最後のレポート 30点
- (3) 顕著な活躍 25点(模擬授業の授業者、発言、記録用紙提出状況など)

個人のレポートだけでなく、グループワークで、どれだけ積極的に参加しているかも評価に取り入れるようにしている。

テストの点に、出欠を若干加味。

小テスト、レポート課題、授業活動、試験を総合して成績を出しました。設定された課題の提出がしっかりとできていなかったり、必要事項を理解せずに試験を受けていたりする受講生が今年度は目立ったため、例年に比べると評価は厳しめになりました。

- ・一週間で考えてきたことや、当日の授業での考えの深まりをコメントカードに書かせ、その内容を毎回5段階で評価した。(全体の40%)
- ・小テスト(全体の30%)
- ・最終課題(学習指導案作成)の出来具合(全体の30%)

授業中の課題35点。発表30点。相互評価20点。レポート15点。

わたしは愛知県内の他の大学でも教職の授業を担当しています。総じて、教職志望の学生たちは真面目ですので、ほぼ全員が「良い」以上の水準に達しています。その経験によれば、愛教大の学生のレベルは高いです。文章読解力、表現力、考える力、調べる力、そして真面目さで際立っています。数年後には教員としてしっかり授業することができる基礎的な力を有しています。

ですので、授業開始時に、受講生全員が「最優秀」のレベルに達するよう全力で支援しています。教員が全力で取り組みれば、真面目な愛教大生は応えてくれます。その結果として、成績評価をしました。

授業への取り組み(出席含む)、および各分野の学習に対する効果、また、シンポジウム参加に関わるレポート、さらに専門分野における個別指導の内容を総合的に判断して成績を出した。

- ・講義前半に4回実施した小レポートの得点(各3点×4回)
  - グループディスカッションでの自己評価(各12点満点×4回)
  - グループディスカッションにおける教員からの評価(各3点満点×4回)
  - グループディスカッション振り返り(3点満点)
  - 最終試験(25点満点)
- を合計して算出。  
各評価基準については随時講義内で伝えるとともに、コメントシート返却時に解説した。

◎3631121(3年生)と4631141(4年生)の共通  
 毎回の授業で提出する板書例や課題を含めて、授業に積極的に参加し主体的に学んでいるかを25%、模擬授業を25%、そして、筆記試験を50%として成績を出しました。筆記試験の半分は模擬授業についての問だったので、模擬授業は全体の50%の割合になっています。なお、模擬授業については、教育現場で修正が可能なことについては大目にみるとともに、教材研究の姿勢など、教育現場に出かける前に身につけなければならないことについてはその徹底をはかりました。なお、3年生と4年生とでは、教育実習の有無の差があるので、その点は考慮しました。

◎3631121(3年生)  
 教育実習を行っていないので、十分な教材研究、教壇での姿勢など、教員としての基礎・基本を重視しました。

◎4631141(4年生)  
 教育実習を行っているので、学習指導案、模擬授業、ともに完成度の高いものを求めました。

授業内の取り組み、およびレポートの内容

筆記試験の結果のみ。

授業内容の理解。記述の論理性。  
 履修カルテの2観点。  
 出席状況を加味。

提出物(ミニレポート①～④,短歌(授業で作成),ワークシート,プリントなど)40%  
 受講態度(出席、発表・討論などへの積極的参加など)20%  
 最終レポート40%

2回の筆記試験(持ち込み可)の評価を中心に成績を出している。

- ・ この授業では下記の三つを総合して評価を行いました。
- ① 平常点(コメントカードなどの提出物の提出状況と内容)
- ② プレゼンテーション(発表の準備、当日のプレゼンの内容、振り返りの中身)
- ③ 最終筆記試験

- ①国語科研究BI 毎時間の意見シートやワークシートを中心に、積極的に授業参加をしているかという点を中心に評価した。
- ②国語科研究AI 毎時間の意見シートと教材研究のレポートを総合して評価した。とくに教材をどのように教えたなら良いかを積極的に考えている者に対し高評価とした。

講義の中で話した内容や演習から、小学校国語科の学習内容と指導のポイント等を捉えることができているかについての評価を行った。

授業態度、毎回提出するワークシート、グループワークの成果物、模擬授業に加えて各自で作成する指導案をレポートの代わりとして評価対象にした。それぞれの項目に「概ね満足できる水準」を配点し、基準点を設け、それを基準に評価に値する活動や提出物に対しては加点し、水準に至らないものは減点する方式で成績を算出した。

集団討議での積極性、毎回のコメントシートをもとに評価した。

毎回の授業での、レポートや、模擬授業への取り組み方と、最終まとめ試験をもとに評価を行っている。